

科目区分	基礎科目		
授業科目名	先端的細胞培養技術		
担当者名	責任者	小泉 幸央	分担者 海老原 敬、安 健博
単位数	1単位(選択)		配当年次 1,2年次
授業形態	実験実習		実施場所 授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標 授業の目的:先端的細胞培養技術について理解することを目的とする。 授業の到達目標:細胞培養の基本技術を習得し、先端的な細胞培養実験を実践することを目標とする。			
授業計画			
	授業の概要及び到達目標 (授 業 内 容)	担当教員名	講座名 〔実施場所〕
1	細胞培養の基本知識	小泉 幸央 安 健博	分子機能学・ 代謝機能学 〔講座研究室〕
2	細胞培養の基本操作と基本技術	小泉 幸央 安 健博	
3	接着細胞の培養	小泉 幸央 安 健博	
4	接着細胞の培養	小泉 幸央 安 健博	
5	浮遊細胞の培養	小泉 幸央 安 健博	
6	Plat E細胞の培養	海老原 敬	微生物学 [Webclass]
7	レトロウイルスの作成	海老原 敬	
8	レトロウイルスの濃縮	海老原 敬	
9	レトロウイルスベクターによる細胞への遺伝子導入	海老原 敬	
10	FACSによる遺伝子導入効率の測定	海老原 敬	
成績評価の基準と方法 研究室での実習30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果、提出したレポートの内容を考慮して行う。			
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等) 小泉 幸央, ykoizumi@med.akita-u.ac.jp 海老原 敬, tebihara@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項 履修に関する情報:社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。 自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			